

100歳のお誕生日を迎えます

3月のお誕生日で100歳を迎えられた山崎おゑさん（富東谷）に、鏡野町より記念品が贈呈されました。

おゑさんは真庭市落合でお生まれになり、高等女学校卒業後、保育所で保育士のような仕事をされています。22歳で結婚されたからは、針仕事の依頼を受けながら、農作業の手伝いに来られた方々の炊き出しをする日々だったそうです。とにかく人数が多く大変だったとお聞きしました。嫁入り前にはお琴を楽しく習っていたが、富に来てからは忙しく全くできなかったのが「今もやってみたいが、目が見えなくなっただけで、できないなあ。」と、とても残念そうにお話ししてくださいました。若い頃は旅行が好きで、北は北海道、南は台湾まで各地を旅行されたそうです。また、婦人会や愛育・栄養委員など地域の役にも飛び回られたそうですが、とにかく大変だったと振り返っていました。

ご長寿の秘訣は「えらい時には自分から休んで、したいことがあればやってみる。」だそうです。好きな食べ物を尋ねたところ「甘い物。洋菓子・和菓子何でも好き。」と言われ、「幼い頃、羊羹屋の友達からよく分けてもらっていた。」と嬉しそうに教えてくださいました。息子さんによると、おゑさんは女系が大変長生きの家系だそうです。お姉さんが97歳で他界、妹さんお二人が97歳・94歳でご健在、いとこさんは他界されているものの、106歳・96歳・97歳だったそうです。現在は、施設にて塗り絵や簡単な手芸など毎日やりたいことをみつけ、お元気に過ごされています。



春の交通安全県民運動 津山・鏡野地域推進大会

4月5日(月)、グリーンヒルズ津山リージョンセンターにおいて、令和3年春の交通安全県民運動津山・鏡野推進大会が行われ、交通安全活動に取り組む関係者らおよそ30人が参加しました。

津山警察署管内で昨年7人が死亡する事故が発生しており、そのうち6人が高齢者でした。

山崎町長からは、「早め早めの行動が交通安全の成果を生むと思います。その目的達成の為にご尽力下さるようお願いいたします。」とのあいさつが述べられました。

また、高齢者の交通安全のため、津山交通安全協会より交通安全たすきが贈呈され、鏡野町老人クラブ連合会女性部長 水田早苗さんが代表で受け取られました。

大会の後には出発式が行われ、白バイやパトカーが各地に出発し、交通安全を呼びかけました。

